

製品名: インテグリン β 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21338**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:88kD;Observed MW:115-125kD

抗原情報

遺伝子名	ITGB1
別名	ITGB1;FNRB;MDF2;MSK12;Integrin beta-1;Fibronectin receptor subunit beta;VLA-4 subunit beta;CD antigen CD29
遺伝子 ID	3688
SwissProt ID	P05556
免疫原	ヒトインテグリン β 1 の合成ペプチド

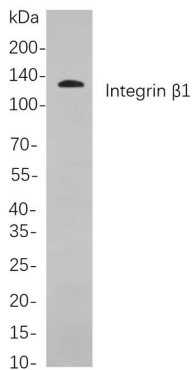
背景

細胞局在: 膜。インテグリンは、 α サブユニットと β サブユニットからなるヘテロ二量体タンパク質です。哺乳類では少なくとも18個の α サブユニットと8個の β サブユニットが報告されています。インテグリンファミリーのメンバーは、胚発生、止血、組織修復、免疫応答、腫瘍細胞の転移拡散など、様々なプロセスにおける細胞接着と認識に関与する膜受容体です。この遺伝子は β サブユニットをコードしています。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



3T3-L1細胞ライセートのウェスタンブロット解析（インテグリン β 1ウサギmAbを使用）。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG抗体を使用した。